

## 探究科学

## 研究の背景(探究協働会議に備える)

研究を行う上で、実験の動機や研究の背景は、最も重要視されます。研究の背景とは、自分がやりたいと思っている研究の先行事例やまだ解明されていない部分を明確に示し、自らの研究がその分野の科学の進歩や社会、地球環境等にどれだけ貢献できるのかということを示し、研究の必要性をしめします。

国際学会では「なぜ、その研究を行ったのか?」「何の意義がその研究にあるのか?」を聞かれます。もちろん探究協働会議では、しっかり説明できるようにしてください。

〈昨年度の例〉

越前塩ウニは、生鮮パフンウニの卵巣に食塩を加えて熟成させた福井県越前海岸周辺の伝統的な保存食品である。熟成により独特の濃厚な風味や古くから伝えられている滋養強壮効果により、珍重され、コノワタ、カラスミと共に日本の三大珍味に定義されている。また、越前塩ウニは、天保10年に越前松平家が戦時における優れた保存食を開発するという目的で開発された。

しかし、これらの歴史や日本の3大珍味にも関わらず、福井県内においても認知度が低い。また近年、消費者の嗜好の変化から減塩化・製造法の簡略化が進み、伝統的な製法の塩ウニが廃れつつある。文献による調査によると伝統的な発酵食品には高血圧抑制効果やコレステロール低下作用などを含むものが多いことを発見した。そこで本研究では、地域の活性化と伝統食品の良さの再発見を目指し越前塩ウニの高血圧抑制効果について検討した。

この論文では、自分たちの研究のサンプルが社会や地域といかに関係しているか示している

社会の現状や先行論文を記入する

最後に自分たちの研究について示す。

同様に、ノートに背景を記入しよう。